

令和元年度

河川名	地点	水素イオン濃度		生物化学的酸素要求量		浮遊物質		溶存酸素量					
		PH		BOD		SS		DO					
		月	年平均	月	年平均	月	年平均	月	年平均				
神田川	久保前橋 (C類型)	5	8.0	7.9	5	1.0	2.3	5	4.0	3.8	5	10.0	9.7
		9	7.7		9	6.4		9	2.0		9	7.5	
		11	7.8		11	0.7		11	3.0		11	10.2	
		2	8.1		2	1.0		2	6.0		2	10.9	
	高戸橋 (C類型)	5	7.0	7.3	5	1.2	2.7	5	<1.0	2.0	5	9.0	8.7
		9	7.3		9	5.9		9	<1.0		9	8.1	
		11	7.3		11	1.4		11	1.0		11	8.6	
		2	7.4		2	2.2		2	3.0		2	9.0	
妙正寺川	四村橋 (B類型)	5	7.2	7.2	5	1.4	2.7	5	2.0	1.8	5	9.6	7.3
		9	7.4		9	5.7		9	1.0		9	4.9	
		11	7.2		11	0.7		11	1.0		11	7.6	
		2	7.1		2	3.1		2	3.0		2	7.0	

※計測値未満の数値については、計測の下限値を用いて平均値を計算しています。

各項目の解説

水素イオン濃度 (PH)

水の酸性、アルカリ性を示す指標。0から14の間の数値で表現されています。PHの数値が7だと中性、7から小さくなるほど酸性が強く、7から大きくなるとアルカリ性が強いことを表しています。

環境基準 6.5～8.5

生物化学的酸素要求量 (BOD)

微生物が水中の汚れ(有機物)を食べる(酸化分析)時に必要とされる酸素の量をもって表したものです。値が大きくなるほど河川が汚れているということを表しています。

環境基準 3mg/ℓ以下(B類型)5mg/ℓ以下(C類型)

浮遊物質 (SS)

水中に浮遊している不溶性の物質。水の濁りの原因となる。光の透過を妨げ、河底に堆積すると河底の生物にも悪影響を及ぼします。

環境基準 25mg/ℓ以下(B類型)50mg/ℓ以下(C類型)

溶存酸素量 (DO)

水中に溶解している酸素の量です。1気圧のもとで20度の清水には約9mg/lの酸素が溶け込みます。気圧、水温などによっても数値は変動します。また、日中、水中植物の光合成が行われるとDOは高くなります。

環境基準 5mg/ℓ以上